令和２年度　授業改善推進プラン　低学年

	令和元年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 （○はおおむねできていること、△は課題があること）	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国語	○書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いて読んだり、進んで文を書いたりすることができる。 ○読書をすることに関心が高く、楽しみながら進んで本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。	○担任による読み聞かせを通してたくさんの文章に触れさせたり、学習の中に動作化などを取り入れたりして、楽しみながら文脈理解を支援する活動を行う。 ○さらに意欲的に読むことができるように、読書の時間と国語の単元学習を関連させる等の工夫をする。 ○表現力を向上させるために、音読練習や話す機会を作り、言語活動の充実を図る。 △文章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞や句読点、かぎを意識できるようにする。 △既習漢字を他教科の学習でも積極的に使用したり単元ごとに学習した漢字のテストを取り入れたりする。また、タブレットを使用して筆順や形をチェックできるようにする。 △副教材や原稿用紙に書く活動を取り入れ、書き方の習熟を行う機会を意図的に増やしていく。
算数	○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むことができる。 ○計算問題への学習意欲とともに、計算の正確さが増してきた。 ○文章問題を正しく読み取って、立式することができる。 △量や長さなど、感覚を伴った単元の定着に課題がある。 △時計が示す時刻や時間が分からない。	○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の工夫をする。 ○ステップ学習の時間に計算練習を計画的に設けたことにより成果が出てきたので、今後も継続し習熟を図る。 ○問題文の中からキーワードを見つけ、具体物・図・式・文章を連動させながら思考させ立式させる。 △体験的な活動を通して量感覚、数感覚が身に付くように、数値だけでなく実際の長さや量を感じる活動を意図的に設ける。 △生活の中で、時刻と時間を使う機会を増やし、復習問題を繰り返し解くことで理解を深める。
生活	○自然に興味をもち、動物や植物などの世話を行うことができる。 △植物や動物の変化や成長の様子について自分なりに表現することに課題が残る。	○学年園や一人一鉢ずつ植物を育て、成長していく植物の変化を日常的に観察させる。 △観察したものを記録する際に、多面的にとらえることができるように「かんさつめいじん（大きさ・手ざわり）」などの視点を提示する。
音楽	○リズムや拍の違いを工夫し、手拍子をしたり音をつなげて音楽をつくったりする学習を楽しむことができる。 △鍵盤ハーモニカの指使いが課題である。	○様々なリズムや楽器にふれる機会をより多くもち、音やリズムに親しみをもたせる。 △鍵盤の拡大掲示を使用し、指使いを具体的に教える。全体指導の後に個別に確認する。
図工	○つくり出す喜びを味わいながら、造形活動を楽しんでいる。 △表現したいことに合わせて材料・用具を使うことに課題がある。	○児童が興味・関心をもつことができる題材を選定する。 △授業の始めに完成したものを見せて、様々な表現の仕方や用具の使い方があることを提示したり、友達と見合って発想を広げたりできるようにする。
体育	○走・跳の運動遊びや機械・器具を使った運動遊びに興味をもって取り組むことができる。 △持久力に課題が見られる。	○運動が苦手な児童も楽しんで取り組むことができるよう、運動する場や用具などを工夫する。 △授業の始めに走り、基礎体力をつける時間を設ける。